

少年育成



卒業・進級に向けて

進級・卒業・就職おめでとうございます。さて、最近ちまたで次のような話を聞きます。都会の大学に進学し喜んでいたので、都会に就職し、親だけが田舎で生活している。親が入退院を繰り返すようになり、離れた子どもにも迷惑をかけている。少子化や企業の都会への集中が地方の過疎化の一因になっています。

これらの解消のために、幼少期から親子で考えたいことがあります。
 ・子どもに一生の生活設計をさせること。
 ・子どもの能力を活かせる職業や就職先はどこか。
 ・将来、親の世話や所有する土地・家屋や先祖代々のお墓を誰が、どう引き継ぐのか。

これらは、子どもが避けられない大問題です。子どもの夢や希望を叶え、途中で目標変更せずに済むように親子で考え、親子が納得しておく必要があります。
 現在の学校の進路指導では、体力、心(興味・関心も含む)、学力などが取り上げられ、特に進学のための得点が重視されています。家庭もこのことを中心に進路を

考えているようです。ただ、この選択は、壮年期までの想定のように感じます。しかし、生誕地と生計の地が異なり、転勤などにより住居変更が多い現在では、多くの課題が生じています。今の進路選択には、家族や地域の視点は抜けています。幸いにも、ロボットやAIの発達で地球規模での情報化や地球の隅々までの流通を可能にしています。地方在住でも豊かに生活できる時代になっていきます。

そこで、幼少期から地域の美しい自然や豊かな環境、伝統芸能や点在する歴史遺産、特色ある経済活動などを知り、地域を誇りに思い、可能性を感じ、同時に課題を刻み込むことが肝要です。また、家族の思いや歴史を折に触れ、話すことも大切です。



都会に進学し、地方と比較させる中で地方の良さと課題解決の方法を考えましょう。都会の人が感じる地方の良さを見直し、故郷に戻り、故郷や地域の魅力・長所を生かした就職や起業を目標とさせましょう。このことが、家族や地方・自分を生かす道につながる一つの方法になるのではないのでしょうか。

少年育成センター ☎ 62・1115

目指せ男女共同参画社会

No.63

女性が暮らしやすい社会をつくることは、男性も、高齢者も、障がいを持つ人も、誰もが暮らしやすく活躍できる社会づくりへとつながっていきます。

平成27年には女性活躍推進法が成立し、国は女性の活躍に向けたさまざまな取り組みを進めています。
 市でも、平成28年4月に三豊市男女共同参画推進条例を施行するとともに、男女共同参画プランの重点目標に「政策・方針決定過程への女性参画の拡大」を掲げ、取り組んでいます。

市審議会の女性委員比率

本市における各種審議会などの女性委員比率は次の表のとおりです。今後も引き続き、女性比率30%をめざし、企業に向けても、呼びかけを行っていきます。

| 年度 | 女性比率 |
|--------|-------|
| 平成28年度 | 23.5% |
| 平成29年度 | 23.5% |
| 平成30年度 | 24.0% |

(各年4月1日現在)

下記のサイトでは、全国さまざまな企業が実際に取り組んでいる事例が紹介されています。

問い合わせ 田園都市推進課 ☎ 73・3011

女性の活躍・両立支援総合サイト 検索

じんけん探訪69

外国人の人権

在留外国人264万人

法務省の2018年6月現在の調査では、日本に暮らす外国人は約264万人で、実習や就労目的で来日する外国人(ニューカマー)が増加する一方、特別永住者は帰化などで減少しています。

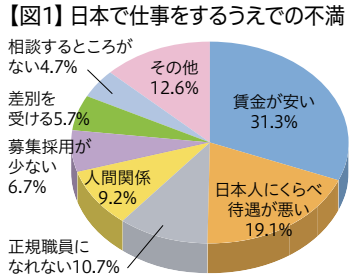
県内外国人の状況

県が2015年に実施した県内在住外国人アンケート調査によると、香川は「自然が豊か」「安全」「環境が良い」など好印象が上位を占めています。一方、日本で仕事をするうえで

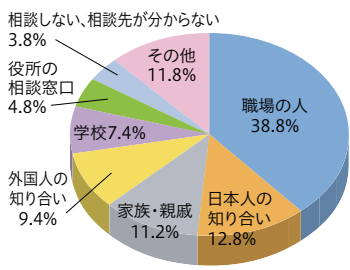
【県内の在留外国人数】

| 国名 | 人数(率) |
|--------|---------------|
| 中国 | 3,870人(32.8%) |
| ベトナム | 2,340人(19.8%) |
| フィリピン | 1,772人(15.0%) |
| 韓国 | 836人(7.1%) |
| インドネシア | 683人(5.8%) |
| その他 | 2,304人(19.5%) |
| 合計 | 11,805人 |

法務省在留外国人統計(速報値)2018年6月現在



【図2】困ったときの相談先



健康コラム Vol.2

筋肉を増やせば、体脂肪が燃えやすく、太りにくい体質に



市緑ヶ丘総合運動公園センター長 (四国学院大学教授) 清水 幸一さん

ダイエットといえば、体重を落とすことばかり考えていませんか?無理なダイエットを実行すると、筋肉はもちろん、骨量まで減ってしまいます。見かけは痩せてスリリしても、スカスカの骨と貧弱な筋肉ではスレンダーになるどころか、将来「骨粗鬆症」になり、「寝たきり」になる危険性が高くなります。

また、体重は軽いのに、体脂肪率が高い「かくれ肥満型」の人も心配です。筋肉が少なければ基礎代謝率も低いので、太りやすくなり、体脂肪が多いと生活習慣病になりやすいと言われています。体脂肪が多い人ほど、脂肪を燃やす有酸素運動(ウォーキングやジョギングなど)が必要となります。

しかし体脂肪が多い人ほど、筋肉量が少ないので、有酸素運動で体脂肪を減らすことが難しいです。筋肉は、酸素を取り込んで脂肪を分解する組織です。そのため、一般的に筋肉が少ない人は、有酸素運動の効果も小さいと言われています。筋力トレーニングで筋肉を増やし、質を高めることが大切です。筋肉が増量し活性化すれば、その分エネルギーが燃焼される、つまり基礎代謝が上がります、痩せやすい体質になるのです。これこそがダイエットの第一歩です。

多文化共生の推進

県内でも多くの外国人が働き、県民経済をとともに担っています。4月から外国人労働者の受け入れが拡大し、県内では瀬戸内国際芸術祭も開催されます。



外国語人権相談ダイヤル

日本語を自由に話すことができない人からの人権相談に際しては、法務局では専門の相談電話(ナビダイヤル)を設置しています。
 【電話番号】0570・090911(全国共通)
 【相談時間】平日 午前9時~午後5時 (年末年始を除く)
 英語、中国語、韓国語、フィリピン語、ポルトガル語、ベトナム語に対応しています。

本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律(ハイトスピーチ対策法)

特定の民族や国籍の人々を排斥する目的で行われる差別的言動(ハイトスピーチ)は人々に不安感や嫌悪感を与え、尊厳を傷つけ、差別意識を生むおそれがあります。ハイトスピーチは許されないものであるとし、その解消に向けた取り組みを定めたものです。

問い合わせ 人権課 ☎ 73・3008